

■ 大学院受験者インタビュー1

国士舘大学／経営学研究科／経営学専攻 進学

研究テーマ「新入社員教育」

2010年10月インターカルト入学（1レベル）⇒2012年3月卒業（7レベル）

中国の大学では人的資源管理を学んだが、メディア関係にあこがれがあり、来日当初はこちらの分野の受験を考えていた。しかし、専門を変えると難易度は上がると聞き、元の専門である人的資源管理の分野で受験を考えるようになった。2011年の秋に国士舘大を受験したが、準備が足りず、不合格。年が明けてからもう一度同じ大学院の同じ研究科を受験して合格した。2回受験したことで特に不利になったことは無さそう。

● 受験する大学や指導教授の探し方

特に研究したいテーマがあるわけではなく、就職のためには大学院卒の学歴が必要だと考えた。特に良い大学でなくても、入学可能なレベルの大学院ならどこでもいいと思っていた。国士舘を受験したのは、東京の良い場所にあり、住んでいたアパートから近かったから。また、オープンキャンパスに行った時の印象も良かったから。

● 教授との面談・説明会

教授には特に連絡を取らなかった。この分野では特に教授に連絡を取る必要はない。

● 研究計画書

大学の時に指導を受けた教授が企業の新人教育の問題を重視していた。それで、大学の卒業論文もこのテーマで書いた。中国企業は歴史が浅く、これから人材教育の分野は重要になって行くと考えてこのテーマを選んだ。ネットでさがした中国語の論文と、区立図書館で借りた人材教育についての日本語の本を参考にして書いた。

● 筆記試験の準備

国士舘大学のオープンキャンパスで教授から『経営学能力検定試験公式テキスト』（中央経済社）という本を薦められたのに、秋の1回目の試験前にはまだこの本をよく勉強していなかった。ところが、試験問題を見たらほとんどこの問題集から出題されていた。それで、2回目の受験前にはこれを徹底的に勉強した。わかりやすく良いテキストだと思う。

● 口頭試験・面談

面談の時間は、秋の1回目受験の時は40分くらい、2回目は20分くらいだった。1回目は全く練習せずに面接試験を受けたため、質問の意味がわからなかったり、答えようとしても日本語が口から出て来なかった。2回目は事前に質問を書き出し、その答えを書いてみて、インターカルトの先生にチェックしてもらった。そして、何人かの先生に模擬面接をしてもらった。最低でも3回は練習をした方がいい。実際の面接試験は1回目も2回目もほとんど同じ質問だった。1回目はうまく答えられなかったために、時間がかかってしまった。2回受験したことについては、特に何も質問されなかった。研究テーマについての質問が一番重要。その他、大学の卒論、学費、志望理由など聞かれた。

● 後輩にアドバイス

大学院を選ぶ時には、「一流大学の学歴がほしい」とか、「どこでもいいから楽に入れる大学」とか、自分の考えをはっきりさせて、それを進学相談の先生にはっきりと伝えた方がいい。相談する時に見栄を張って、よい大学のことだけ話しても、現実的に役に立たない。自分の学力や大学院に入る目的、興味を持っていることなど、素直に伝えてアドバイスをもらった方がいい。中国人の中で有名な大学、受験者が多い大学が良い大学とは限らない。自分の条件や希望を自分でよく整理することも大事。

■采访大学院入学者-1

国士馆大学/经营学研究科/经营学专攻 考入 研究主题《新入社员教育》

2010年10月草苑日本語学校入学（1水准），2012年3月毕业（7水准）

国内大学本科学的是“人力资源管理”，但比较喜欢传媒专业，所以来到日本后想转为传媒专业。但是，听说换专业难度很大，所以还是改为了原来的专业方向。2011年秋季考过国士馆大学，但是因准备不足而落榜。过年后，再次挑战同大学的同专业，合格。参加两次考试好像没有受到不利的影响。

●查找要报考的大学、指导教授的方法

报考大学院主要是因为将来就职时大学院学历有必要而已，不是原先开始就有特别想研究的内容。没有特别的去想好的大学院，报有只要有可以考入的大学院，哪都可以的想法。报考国士馆是因为学校在东京的好位置，而且与原先的住处非常近。还有，去参加“开放校园”活动时的印象比较好。

●与教授面谈·说明会

没有特别的跟教授取得联系。在这个领域没有必要特意跟教授取得联系。

●研究计划书

因大学时的指导老师非常重视新人教育方面的问题，所以大学毕业论文的主题也是此内容。因为中国的历史比较浅，考虑到今后中国企业的人才教育领域的重要性而选择了这个主题。借助网上查找的中文论文和在区立图书馆借的人才教育方面的日文书籍来书写的。

●笔试的准备

在国士馆大学的“开放校园”活动中，教授推荐了《经营学能力检定考试公式教材》（中央经济社），在秋季的第一次考试前没有认真的学习此书。但大部分考题其实都出自此书。所以，第二次考试时进行了认真的学习。写得通俗易懂，是一本非常不错的教材。

●口试·面试

秋季第一回面试时间是40分钟，第二回20分钟左右。第一回的时候是因根本没有进行过练习，所以没法听懂提问，想回答也说不出来。第二回面试之前，准备好提问的内容，把要回答的内容写出来，得到草苑日本語学校的老师的修改。并且接受了多名老师的模拟面试。最少也要接受3次以上的面试练习。两次的面试内容几乎相同。第一回是因为准备不足而拖的时间较长。没有被提问关于参加两次考试的问题。关于研究主题的提问非常重要。此外，对大学毕业论文、学费、志望动机有过提问。

●给后辈的建议

选择大学院时，一定要把“想要升入一流大学”、“不管是哪个学校只要能容易考入的大学就可以”等想法明确地告诉升学指导老师。一定要符合现实、符合自己的能力。有必要直接地向升学指导老师表明自己的能力、升入大学院的目的、自己的爱好。中国人心目中的有名的大学、报考的人多的学校，对于自己来说未必是好大学。把握并整理好自己的能力以及希望是非常重要的。